

『病理解剖させていただいた患者さんの試料・情報について、 研究目的での使用にご理解とご協力をお願い致します』

研究課題名

「日本神経病理学会ブレインバンク委員会主導による皮質基底核変性症の中央診断」 の実施について

研究責任者：慈圭会精神医学研究所 客員研究員
横田 修

私たちは、皮質基底核変性症の病理診断の精度の向上を目的とした研究を行います。具体的には、当院で既にお亡くなりになってその際に病理解剖された患者さんのうち、病理学的に皮質基底核変性症と診断された方の、染色切片と凍結脳試料を共同研究機関に送付し、病理診断が間違いないかという事、関連する遺伝子（タウ蛋白遺伝子）に変異がないかという事、タウ蛋白の生化学的性状が本疾患として矛盾がないかという事を確認します。この取り組みにより、最終診断が皮質基底核変性症である事が間違いない事を確認できることとなります。これは将来この疾患の正確な臨床診断、病態解明、根本的治療方法の開発を進めていく上で必要な事であると考えています。本研究では患者さんの氏名、病院のID、住所、電話番号など個人が直接特定できる情報が外部に出る事はなく、その他の個人情報もプライバシーに十分配慮して扱われます。またこの研究の結果は病院ID、氏名、住所などの個人を直ちに特定できるは削除して学会、論文、各種報告書、当院や共同研究機関のホームページ、一般市民向け講演会等で発表されます。本研究は日本神経病理学会ブレインバンク委員会の主導で行われ、本研究の内容は研究グループ主管施設である東京都健康長寿医療センター、及び遺伝子解析を行う新潟大学の倫理委員会の承認を受けており、慈圭病院の倫理委員会からも承認を得ています。

1. 研究の対象となる方

本研究は、下記の方を対象としております。

1924年1月1日～2019年9月30日に亡くなってから病理解剖を受けられた方

2. 研究に用いる試料・情報の種類

共同研究施設に提供される情報は以下の通りです。

情報：剖検番号（カルテ番号とは無関係な番号です）、死亡時の年齢、性別、死後剖検までにかかった時間、死因、臨床診断名、病理診断名等。

試料：染色切片標本、凍結脳組織。

3. 外部への試料・情報の提供

上記試料及び情報は、検討の内容に合わせて適切な下記の外部機関に提供します。組織試料は郵送されます。臨床情報は電子メールで送付され、これは特定の関係者以外がアクセスできない状態で行われます。対応表は当院の個人情報保護管理者が保管・管理しており、試料等送付先には開示されません。

4. 研究期間

2019年12月1日～2021年3月31日

5. 研究組織

主な共同研究機関は以下の通りです。

岡山大学大学院精神神経病態学教室、きのこエスポール病院、万成病院、北海道大学、弘前大学、国

立精神・神経医療研究センター，東京都健康長寿医療センター，東京大学医科学研究所，東京都医学総合研究所，東京都立神経病院，東京医科歯科大学，相模原病院，新潟大学，愛知医科大学，名古屋市立大学，福祉村病院，東名古屋病院，鳥取大学。

6. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので，下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんや御家族に不利益が生じることはありません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば，他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者：（氏名）横田 修（所属）慈圭会精神医学研究所

電話番号：086-262-1191（代）住所：〒702-8026 岡山県岡山市南区浦安本町 100-2